

自分の限界に挑みたい



神戸大応援団からエールを受ける学術登山隊のメンバー＝灘区六甲台町1

中国のカンリガル山群

同大は2003年、世候と危険な山登り断念し、奥で初めて高山鞋に登山した。その後、07年に派遣隊を派遣。最高峰のルオした偵察隊が、K5-2(同6708m)と二丁峰(標高6884m) (同6708m)と呼ぶの登山を試みたが、悪天候の峰に、より確

10日に出発

な登山ルートを探見。登山目標を変更し、中国の登山員と再挑戦することになった。

登山会では実行委員長の山裕士・神戸大大学院教授が「世界の期待に応えて初登頂し、日中友好好きに探めたい」とあいさつ。日本側の隊員7人を紹介した。井上達

男隊長(2)は「未知の世界を自指す伝統を若い隊員に引き継ぎ、真実は何かを自分で確かめてほしい」と語った。

副隊長の山田健さん(3)は、6つの前進キャンプを建設して臨む登山ルートと現地の厳しい天候を説明し、「忍耐の登山になる」と表情を引き締めた。海外での登山は初めてという最年少の石丸祥史さん(19)＝神戸大2年1は「まだとない機会です。自分の限界に挑みたい」と語っている。

中国と合同、未踏峰登頂へ 狂行会で決意新た

神戸大登山隊

中国・チベット自治区東南部に位置するカンリガル山群にある未踏峰の登山に挑む、神戸大と中国地質大(武漢)の合同学術登山隊の壮行会が26日、神戸大であった。一行は10日に出発し、登山は順に進めば10日ごろには予定。未踏の頂を自指す隊員は、同大や山岳の関係者が熱いエールを送った。

(大月美佳)



神戸大の石田廣史副学長（前列左）から隊旗を受け取る井上達男隊長（後列は隊員ら）＝神戸市灘区

「必ず登頂」で必ず登頂論の山本憲昭さん(51)「登攀(トウパン)して研究を重ねてきた。7人は10月9、10両日に2日、中国チベット自治区の未踏「カンリガルボ山群」の未踏峰(推定標高6708m)に挑む同大山岳チーム(52)に健さん(54)副隊長、高校教員長(会社社長の井上達男さん(59)「実行委員が未知のエリア」登頂した7人は、神戸大大学院教授0Bら約60人が出席。井上隊長の壮行会が開かれた。壮行会には、神戸大山岳部さん(19)一同。

「必ず登頂」と決意

神戸大、チベット未踏峰再挑戦へ

指す未踏峰はルオニエ近にあり、07年秋から偵察隊を派遣するなどして氷河やクレーン(割れ目)、自然環境について研究を重ねてきた。グループに分かれて日本を出発。中国地質大の10人を含む後、高度4千付近から半ヤンゴを張のながら移動し、11月10日前後の登頂を目指す。

年少の石丸さん(19)は朝日新聞の取材に「緊張しています。が、めったにないチャンス。何としても成功させたい」と語った。神戸大山岳会は03年、同山群最高峰「ルオニエ」(同6884m)に挑戦したが、悪天候などで断念。今回登頂を目標